

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）				事業番号	011-060	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	
			有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率			
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)	
			有	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を			3.8
		寄与するKPI	有・無	取組	地域包括ケアシステムの推進			
			有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6（2024）～8（2026）年）		
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	介護保険法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・各区					
6	事業の対象	65歳以上の高齢者				対象数	単位
						約171,000	人
7	事業の目的	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防（介護予防）を図ることを目的としている。					
8	事業内容	保健センター又は地域会館において高齢者等に対して介護予防に係る知識の普及啓発を行う。事業内容は以下のとおり。 ①げんきあっぷ教室：老人福祉センターや地域会館等で運動指導士による運動機能向上のプログラムを実施。 ②低栄養改善：管理栄養士等による低栄養予防のための講座を実施。 ③口腔機能の向上：歯科衛生士や言語聴覚士等による口腔機能向上のための講座を実施。 ④複合型介護予防教室：認知症を予防するための取組を中心に、運動機能向上、低栄養改善、口腔機能向上のプログラムを実施。 ⑤介護予防健康教育：保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による介護予防や健康増進全般に関する講座を実施。 ⑥いい歯自慢コンテスト：80歳以上で自分の歯を20本以上持つ方を対象に、歯科医師による審査を実施し、表彰する。 ⑦堺コッカラ体操リーダー養成講座：地域でコッカラ体操のリーダーとして活躍できる方を養成する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	セントラルスポーツ（株）、（株）アクティブ、NPO法人みんなのwell.net、（社福）大阪府社会福祉事業団特別養護老人ホーム美原荘					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	参加延人数	人	目標値	24,000	24,000	24,000	24,000
	事業内容8の①～⑦の参加延人数		実績値	22,535	23,782		
			達成率	94%	99%		
	当該指標を選定した理由	継続して介護予防に取り組む高齢者が増えることで、健康寿命の延伸につながる。					
	目標値の設定根拠・算出方法	介護予防教室・健康教育・出前講座等の参加延人数。各教室定員の合計数を目標値とする。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	開催回数	回	目標値	1,200	1,200	1,200	
	事業内容8の①～⑦の開催回数		実績値	1,309	1,325		
			達成率	109%	110%		
	当該指標を選定した理由	保健センターや地域等で介護予防に関する教室や講座に参加する機会を提供し、地域の介護予防活動への参加を促す。					
	目標値の設定根拠・算出方法	介護予防教室・健康教育・出前講座の開催回数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		介護予防普及啓発事業（本庁）				事業番号		011-060									
Ⅲ. 投入量																	
事業コスト																	
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）																	
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度									
		決算		決算		当初予算		当初予算									
13	財 源 内 訳	事業費（a）		19,681		21,467		28,520		24,666		29,007					
		国支出金		4,920		5,367		7,130		6,167		7,252					
		府支出金		2,460		2,683		3,565		3,083		3,626					
		市債		0		0		0		0		0					
		その他（被保険者保険料）		9,841		10,734		14,260		12,333		14,503					
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0					
一般財源		2,460		2,683		3,565		3,083		3,626		3,626					
14		人件費（b）		2,430		2,430		2,520		2,520		2,610					
15		年間経費（c）=(a)+(b)		22,111		23,897		31,040		27,186		31,617					
事業費の内訳																	
（単位：千円）																	
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費		うち 一般財源		項 目		年度		事業費		うち 一般財源	
		地域型げんきあつが教室委託料		R7	決算	12,108	1,514	その他報償費		R7	決算	3,406	426				
				R8	予算	15,445	1,931			R8	予算	3,718	465				
		複合型介護予防教室委託料		R7	決算	6,091	761	会場賃借料・研修会参加負担金		R7	決算	363	45				
				R8	予算	6,336	792			R8	予算	400	50				
		堺コッカラ体操リーダー養成講座委託料		R7	決算	298	37			R7	決算						
				R8	予算	298	37			R8	予算						
		教室運営必要経費（消耗品・印刷製本費・郵便料等）		R7	決算	1,694	212			R7	決算						
				R8	予算	1,743	218			R8	予算						
		健康教育講師謝礼金等		R7	決算	706	88			R7	決算						
				R8	予算	1,067	133			R8	予算						
		Ⅳ. 事業の効率性															
単位当たり経費																	
17	区 分		単位		令和6年度		令和7年度										
	① 委託教室の開催回数		回		1,309		1,325										
	② 上記①にかかる年間経費		千円		23,897		27,186										
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位		18,256		20,518										
算出についての説明等		地域型げんきあつが教室・複合型介護予防教室・コッカラリーダー養成講座の委託教室の開催に係る単位当たりの経費															
Ⅴ. 評価																	
費用対効果に係る所見																	
18 介護予防に取り組む機会を提供するため、介護予防教室を開催。令和7年度は前年度比で参加者数が約5%増加し、多くの市民に介護予防に取り組むきっかけを提供できた。また老人福祉センター型げんきあつが教室やひらめき脳トレプラス教室など、継続的に教室参加を促すことで自立した生活が継続され、介護予防に繋がっている。																	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）																	
19 本事業は、高齢者の状況に応じた介護予防教室や地域の通いの場への参加を促進することで、フレイルや閉じこもりの予防及び心身の状態の改善を図り、要支援・要介護状態への進行抑制を通じてKPIの指標である「前期高齢者の要支援認定率の低下」に寄与している。																	
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）																	
20 <table><tr><td>必要性</td><td>☒ 高い ☐ 低い</td><td rowspan="2">高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、今後も身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であることから、必要性・有効性が高い事業である。</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☒ 高い ☐ 低い</td></tr></table>										必要性	☒ 高い ☐ 低い	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、今後も身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であることから、必要性・有効性が高い事業である。	有効性	☒ 高い ☐ 低い			
必要性	☒ 高い ☐ 低い	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、今後も身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であることから、必要性・有効性が高い事業である。															
有効性	☒ 高い ☐ 低い																